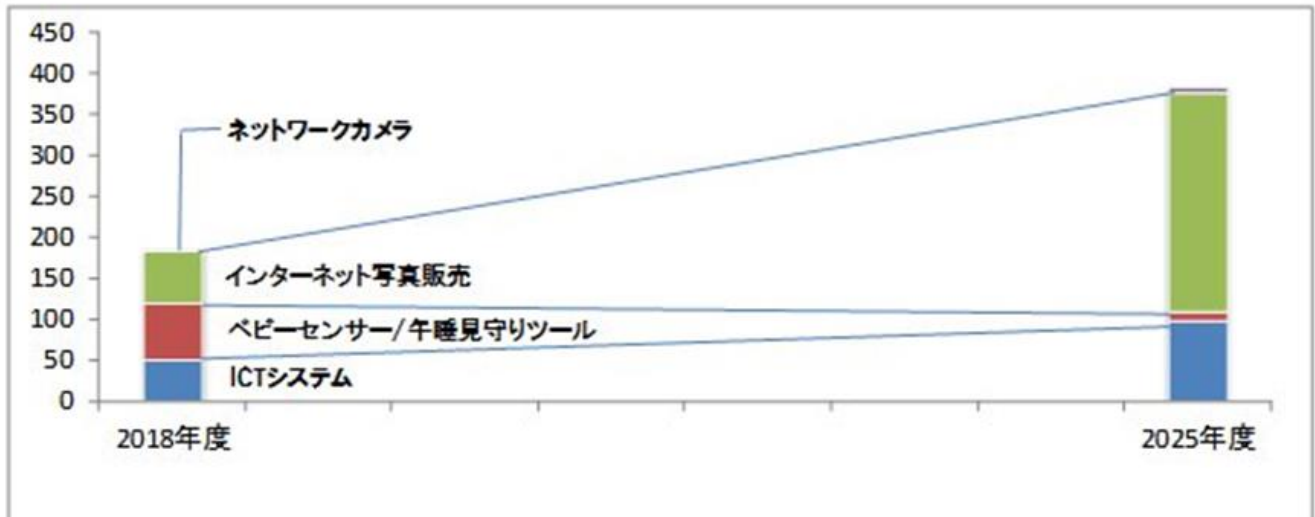


## 保育園におけるインターネット写真販売の普及予測が示唆する 5G や AR(拡張現実)技術が実現する保育の未来像

領域別市場推移予測

(単位:億円)



(シード・プランニング作成)

(出所) <https://www.seedplanning.co.jp/press/2018/2018081601.html>

高度なデジタル通信環境を使って、遠隔地間でも「見守り」を行おうという試みは、随分昔から多数なされてきたが、これまではあまりうまくいった事例はないようだ。

その一方で、各所の保育園において、インターネットで、園児の写真を販売するサービスを導入しているところが増えているそうである。ある調査会社の調査では、保育園におけるインターネット写真販売のサービスについては、他の保育園に関する ICT 関連サービス以上にその市場規模が成長していくという予測が出されている。保育園での我が子の様子を少しでも詳しく見たいという保護者の希望やニーズが、このような写真販売サービスの市場規模の拡大予想ということに表れているのだろう。

さて、今年、2019年2月に開催された世界最大の携帯通信関連見本市、「MWC (モバイル・ワールド・コンGRESS) 2019 バルセロナ」では、より通信速度の速い5Gの規格に適合した試作品や技術が多数出品された。より大容量で、高速度のデジタル通信がスマートフォンで可能になるため、より豊富な情報のやり取りが手近で可能になる。

その豊富な通信帯域によって実現に可能となる技術の一つに拡張現実 (AR) というものがある。拡張現実=ARとは、「Augmented Reality」の略で、実在する風景にバーチャルの視覚情報を重ねて表示する

ことで、目の前にある世界を“仮想的に拡張する”というものだ。これによって、離れた場所にいる人とのコミュニケーションがよりリアリティーを持って可能となると言われている。

例えば、今年の MWC では、マイクロソフトが「Hololens 2」というデバイスを発表している。これは、頭にかぶるディスプレイで、3D シアターで使う 3D メガネがごつくなつたようなものだ。これを装着すると、景色に様々な情報や映像が付加されて表示されるようになる。

#### <参考>

マイクロソフト「HoloLens 2」。視野角 2 倍&解像感倍増。両手の指を認識して操作

<https://av.watch.impress.co.jp/docs/news/1171346.html>

5G の通信環境が実現すれば、このようなデバイスや技術を使って、保育園での園児の姿をリアルタイムで観察するということもできるかもしれない。将来的には、AR の力で、保育園の給食を、パパやママと「一緒に」食べるということも可能になるのかもしれない。あるいは、世界中の他の保育園の園児たちと、仮想現実の中で、新しい遊びをするなどということもあり得るだろう。

最近では、「職場にお子様を連れていけるようにしましょう」という施策に対し、賛否両論が渦巻いたということもあった。我が子と共有できる時間をもっと増やしたいという親心をとらえた新しい育児支援（保育共有）サービスが、5G の普及や AR のソフト、ハードの技術の進歩によって、生まれてくるだろう。

そうなれば、保護者の仕事と育児の両立という課題が全くこれまでとは違う方法で解消されるのかもしれない。

●当レポートは、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。当レポートのご利用に際しては、ご自身の判断にてお願い申し上げます。また、当レポートは執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。なお、当レポートに記載された内容は予告なしに変更されることもあります。